

特殊報

平成 30 年 7 月 17 日

平成 30 年度病害虫発生予察特殊報 第 1 号

- 1. 病害虫名** キク茎えそ病
病原体 キク茎えそウイルス (*Chrysanthemum stem necrosis virus* : CSNV)
- 2. 対象作物** キク
- 3. 特殊報の内容** 本県における初発生を確認
- 4. 発生地域** 奈良県中部地域
- 5. 発生確認の経緯**
 - 平成 30 年 6 月下旬に奈良県中部地域の小ギク圃場において、葉にえそ症状を呈する株を確認しました (写真)。
 - 奈良県病害虫防除所において実施した RT-PCR およびシーケンス解析により、キク茎えそウイルス (CSNV) の感染を確認し、キク茎えそ病であることが判明しました。
- 6. 国内での発生状況**
 - 本病は、国内では平成 18 年に広島県で初めて確認され、近隣では三重県、和歌山県、京都府、滋賀県、兵庫県での発生が確認されています。
- 7. 病徴**
 - 茎にえそ症状を、葉には退緑・えそ症状を生じます。トマト黄化えそウイルス (*Tomato spotted wilt virus*: TSWV) によるキクえそ病の病徴と酷似しており、病徴からの診断は困難です。
- 8. 病原体と伝染**
 - 病原ウイルスは、TSWV と同じトスポウイルス属であり、ミカンキイロアザミウマによって持続伝搬されます。保毒成虫からの経卵伝染は確認されていません。
 - 罹病親株からの挿し芽による栄養繁殖で伝染します。
 - 土壌伝染は確認されていません。
 - キクの他にトマト、ピーマン、トルコギキョウでも圃場での感染が確認されています
- 9. 防除対策**
 - 発生を確認した場合は、罹病株を抜き取り、ほ場外に持ち出して焼却または埋設処分を行う。
 - 親株には健全株を用いる。

(3) 媒介虫であるアザミウマ類を防除する。



写真 キク茎えそ病の症状 (左：ほ場での罹病株、右上：葉の病徴、右下：葉の病徴拡大図)

●お問い合わせは

奈良県病害虫防除所 TEL. 0744-47-4481

●その他の情報

病害虫防除所ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/nara/>

奈良県農業情報システム (農作物病害虫・雑草防除指導指針)

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/nara>